

## DX銘柄グランプリに初選定

2026年4月10日「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX銘柄) 2026」に選定されました。さらに同銘柄選定企業の中からデジタル時代を先導する企業として「DXグランプリ2026」にも選定されました。昨年のDX銘柄初選定に続き、今回初のグランプリ獲得となります。



## DXグランプリ2026 Digital Transformation

### DX銘柄とは？




デジタル技術を前提としてビジネスモデル等を抜本的に変革し、新たな成長・競争力強化につなげていくデジタルトランスフォーメーション (DX) に取り組む企業を表彰。DX銘柄2026には当社を含む30社が選定。特に優れたDXの取り組みを行った企業をDXグランプリ2026として、当社を含む3社が選定されました。

今回のDX銘柄選定審査では、生成AIの利活用に関して一層評価する設問が加わりました。

#### 経済産業省発表

[https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/investment/keiei\\_meigara/dx\\_meigara.html](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/keiei_meigara/dx_meigara.html)

#### 評価ポイント (抜粋)

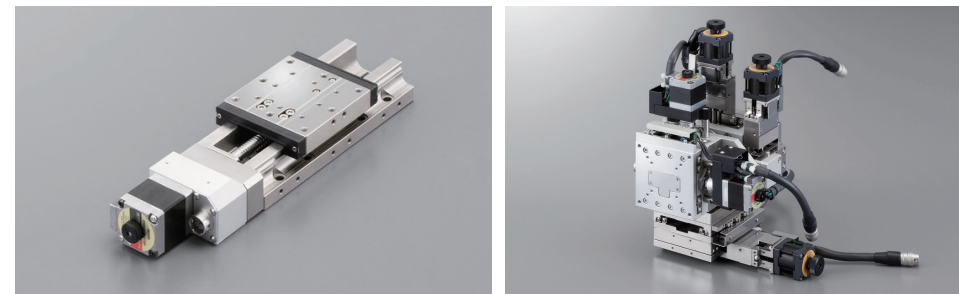
-  プロセスイノベーションを実現し続けてきた"本家本元"として、従来事業の深化に加え、事業ドメインの拡大、量産間接材調達、3DCADデータのAI認識と無人製造等により「無限大のものづくり」を実現している。
-  成長戦略「デジタルモデルシフト」・DXビジョンを明確に掲げ、経営トップの関与の下、全社的にデジタル施策を展開。デジタル人材の定義から確保・育成まで一貫して実践している。
-  少量多品種の確実短納期という強みを軸に、量産過程を内包するDXへ進化。Fictiv Inc.買収により標準品・特注品を一元発注できるプラットフォームを構築し、サプライヤーとの在庫連携で社会最適な協創モデルを実現している。

当社の取り組みがわかる  
「統合報告書2025」  
当社ホームページにて公開



## データセンター向け自動ステージ増産

2026年1月29日、生成AIの世界的普及に伴い急拡大するデータセンター市場向け製造装置で求められる、自動ステージの増産を決定しました。中国・ベトナムの製造拠点に**計約20億円を投資し供給能力を倍増**します。



当社で生産する主な自動ステージ

### 旺盛なAIデータセンター需要に応える確実短納期体制を強化

生成AIは、大量のデータ分析を経るため、データ処理を行うデータセンターの需要が世界的に拡大しています。**世界のデータセンター市場は2024年に4,161億ドルと見込まれ、2029年には6,241億ドルまで拡大**すると予測されています\*。このうち約半分がネットワークインフラに関連する機器やサービスです。

このうち、光トランシーバーは、AI登場以前と比べて計算結果を高速でやりとりする通信量が膨大になっており、サーバー1台当たりの搭載数が飛躍的に増加しています。光トランシーバーの製造装置には、**自動ステージが組み込まれており、その注文数も急速に増加**しています。ミスミでは、お客さまの注文に確実短納期で対応し、今後も拡大が見込まれるデータセンター市場においてさらなる供給体制の強化を図ります。

ミスミはものづくり産業のAI特需にも対応し、グローバルで時間価値を提供することで、生産性の向上に貢献してまいります。

※ 総務省「令和7年版 情報通信白書」

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd218100.html>